

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 昭61-171623

⑬ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和61年(1986)10月24日

B 60 J 7/08

6848-3D

審査請求 有 (全3頁)

⑮ 考案の名称 貨物自動車における荷台屋根開閉装置

⑯ 実 願 昭60-54825

⑰ 出 願 昭60(1985)4月15日

⑱ 考 案 者 山 崎 隆 昌 静岡県駿東郡長泉町納米里556番地 加藤車体工業株式会社内

⑲ 出 願 人 加藤車体工業株式会社 静岡県駿東郡長泉町納米里556番地

⑳ 代 理 人 弁理士 土 井 整

㉑ 実用新案登録請求の範囲

荷台の後端部に門型枠体が立設され、該門型枠体と荷台の前端部に立設された前壁との間に、該荷台の上面及び側部を覆う断面略 Γ 状に形成された荷台屋根が左右に設けられ、該左右の荷台屋根の基端が門型枠体と前壁の上縁部間に横架された支持部材に枢軸を介して回動自在に枢着され、かつ、該左右の荷台屋根と門型枠体あるいは前壁の上縁部との間の少なくともいずれか一方に、荷台屋根の全開状態を保持するようになされた圧縮バネが介装され、手動で該荷台屋根を開閉するようになされた貨物自動車における荷台屋根開閉装置において、

前記枢軸の前後端の少なくともいずれか一方に、荷台屋根の全開時において下方に延在する第1プレートが枢着され、該第1プレートの枢着部近傍にはアームブラケットを介して前記圧縮バネの一端が回動自在に枢着され、該圧縮バネの他端は門型枠体もしくは前壁の上縁部に固着された取付部材にブラケットを介して回動自在に枢着され、前記第1プレートの下方に位置する門型枠体もしくは前壁の上縁部に、該第1プレ

ートと係脱可能な第2プレートが回動自在に枢着され、該第2プレートには門型枠体もしくは前壁の上縁部に当接するストツバが形成され、かつ、該第2プレートの上端に、該第2プレートを荷台屋根の全開時において前記第1プレートに係合させ、押圧する方向に付勢する引張りバネの一端が回動自在に係止され、該引張りバネの他端は前記圧縮バネの下方に位置し、前記取付部材に取付けられていることを特徴とする貨物自動車における荷台屋根開閉装置。

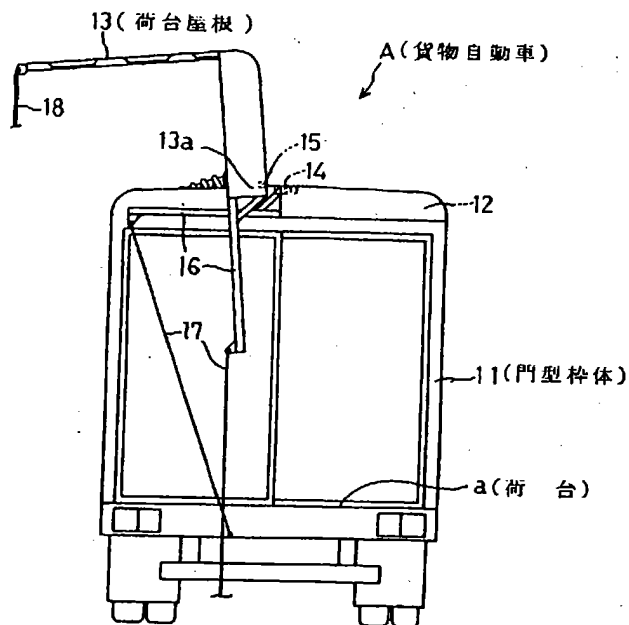
図面の簡単な説明

第1図は本考案による荷台屋根開閉装置を装着した貨物自動車の後面図、第2図乃至第4図は荷台屋根開閉装置の作動状態を示す拡大後面図、第5図は第1プレートと第2プレートの関係を示す部分拡大平面図、第6図は各モーメントと荷台屋根の開度との関係を示すグラフ図である。

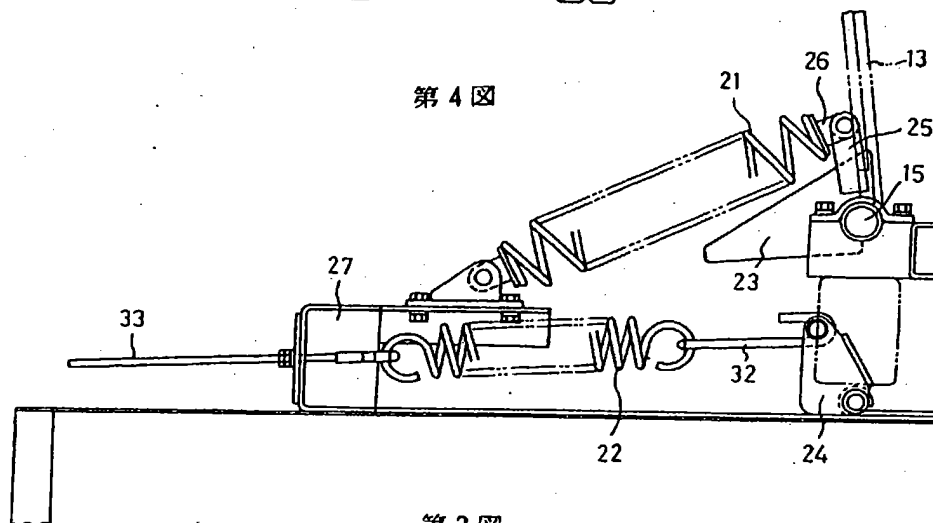
Aは貨物自動車、aは荷台、11は門型枠体、13は荷台屋根、bは荷台屋根開閉装置、21は圧縮バネ、22は引張りバネ、23は第1プレート、24は第2プレート、27は取付部材。

実開 昭61-171623(2)

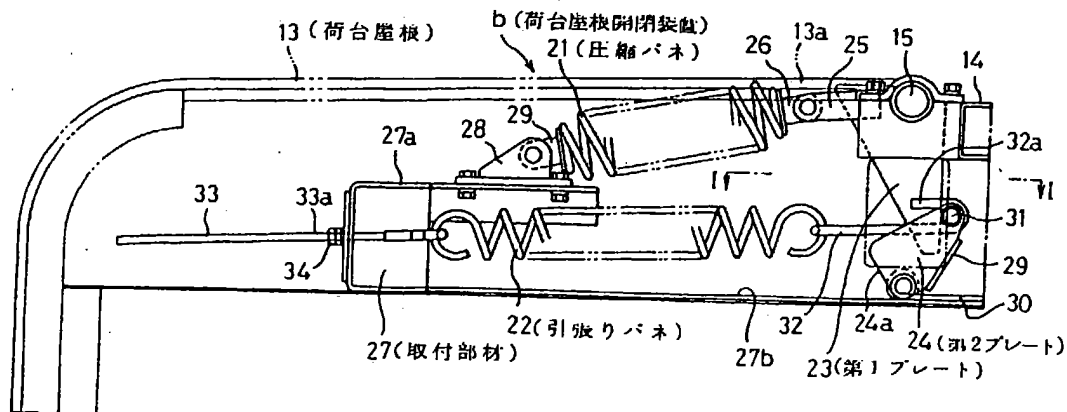
第1図



第4図



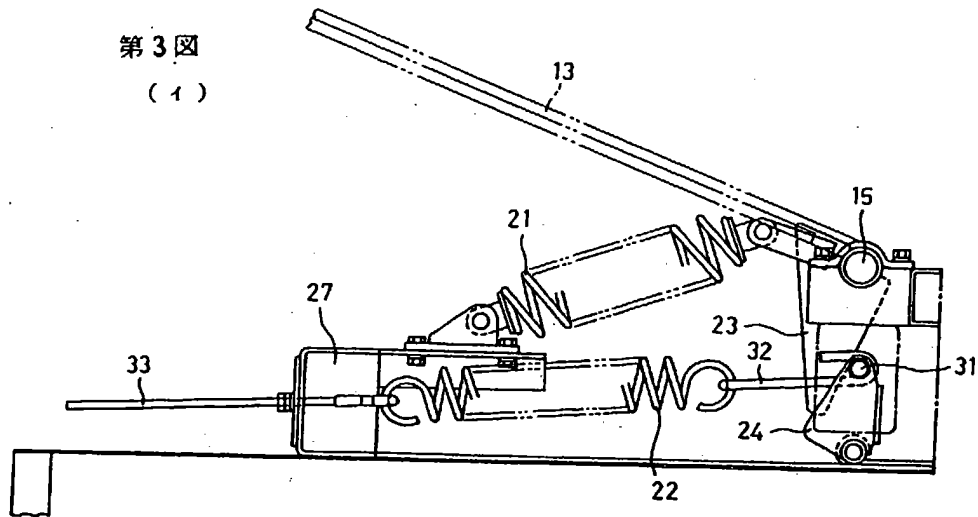
第2図



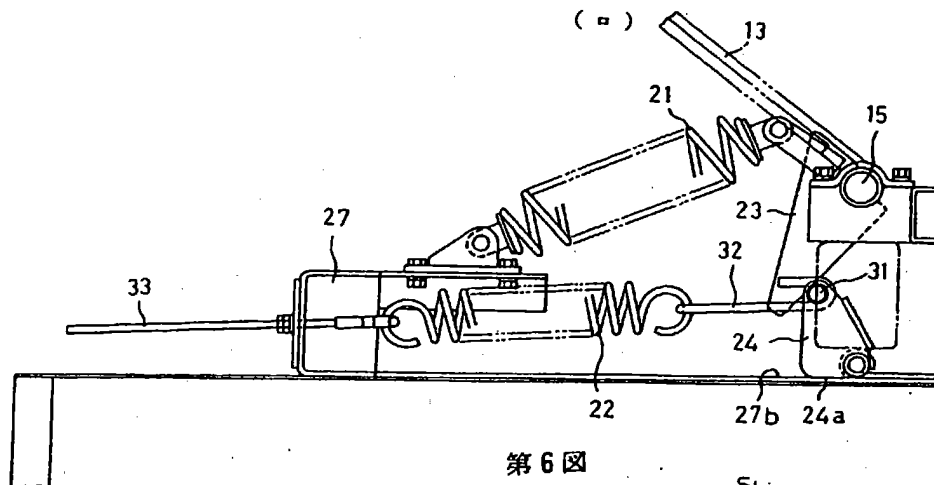
(3)

実開 昭 6 1 - 1 7 1 6 2 3 (3)

第 3 図
(1)



(2)



第 6 図

第 5 図

